

今月のコラム

私たちがエクステリア・ガーデン専門ポータルサイトを作った背景

弊社では今年の9月8日にエクステリア・ガーデン専門のポータルサイト「ガーデンプラット」(www.garden-plat.net)をスタートします。今回のその背景と特徴を簡単にご紹介いたします。

■ WEB 利用現状と業界動向

WEB 利用者の増加は顕著で、具体的には 2008 年企業対顧客取引で 6 兆円強、2013 年度には約 12 兆円となると予想され、月間の検索サイト利用者は 4700 万人以上といわれています。一方エクステリア業界は新築需要の低下の影響を受けメーカー・施工店各社業績が厳しいですが、実態はニーズ、流通の多様化により販売が拡散しているのではないかと考えられます。

■エクステリア施工店の WEB の取り組みの変化

以前は工事や現場が絡むエクステリア業では WEB 受注は困難と思われてきましたが、8 年くらい前から WEB とメールによる受注や、やり取りを始める会社が現れ、最近では小売や工事分野においても WEB 受注で月間売上が数千万～1 億円を超える企業が出始めています。

しかしながら RIKCAD ユーザーアンケート調査をしてみると、WEB サイトを作成してからほとんど更新したことがないという企業が多く、WEB 活用で重要な「デザイン・コンセプト」「SEO 対策 (サーチエンジン最適化)」「メンテナンス」などにしっかり対応できていないのが現状ではないでしょうか。他業種から見てもまだまだ業界、企業の魅力を伝えきっていないでしょう。

■ガーデンプラット構想と目的

上記のような状況を考え、今後市場の拡大、創造を図るためには生活者への啓蒙と、専門店とのマッチングを行うための専門のポータルサイトが必要不可欠だと考えました。

つまり弊社でステージをつくり、そこに専門店とメーカーなどの情報掲載を行い「新たな情報モール」を構築するというものです。ちなみに「ガーデンプラット」のプラットには「プラットフォーム」と、「サイトにぶらっと寄って欲しい」との想いを込めて名付けました。

■ガーデンプラットの特徴

- ・ ショップ検索機能で、一般生活者が全国のエクステリア・造園会社から施工対応地域、施工写真、デザイナーなど豊富な検索方法で、問い合わせ、見積もり依頼が可能です。
- ・ 一般生活者への啓蒙する為に、庭づくりやエクステリアに興味や知識を持っていただくためのコンテンツを充実させております。
- ・ 3D デザインツール「Google SketchUp (無料版)」の利用により、自分の庭イメージをつくることができます。
- ・ エクステリア&ガーデンデザイン配信サイト「エクスプラット」から部位やテーマにあったデザインを自由に探す事ができ、庭づくりのイメージとして、施工店に伝える事ができます。
- ・ 各種 SEO 対策や住宅ポータルサイトとの連携で集客アップを図っていきます。

以上まだまだ詳細はご説明できないことがたくさんありますが、今後はさらなる発展のためぜひ園芸業界とのコラボレーション、情報掲載もできるように考えております。

皆様とともに市場の拡大、創造に努めていきたいと考えておりますので、ぜひサイトをご覧ください忌憚のないご意見、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



株式会社リック 常務取締役

小松 正幸





カエデ
kaede

「江戸園芸花尽し」10月1日～11月26日

東京都渋谷区・太田記念美術館で

日本が誇る江戸の園芸を伝える浮世絵展「江戸の園芸花尽し」が、10月1日～11月26日（前後期で展示替え）まで、東京都渋谷区神宮前1丁目にある「浮世絵 太田記念美術館」において開催される。

万葉の昔から四季の移ろいを愛で、野に遊び花を詠んだ日本人。花は人々の糧となり暮らしにとけこみ、底流として息づいている。

平和の続いた江戸時代、この流れは大きなうねりとなり公家や将軍、大名そして庶民まで身分を越えた「園芸文化」として頂点を極めた。また、陶磁器の文化も大輪の花を咲かせ、すばらしい植木鉢として園芸文化の一翼を担った。

同展は、幕末に來日した外国人にも賞賛された江戸園芸文化を、庶民に愛された浮世絵から探る初めての試み。定休日、月曜。ただし祝日は開館し翌日休館。一般1,000円。

<http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>



花葉会セミナー

若手生産者がチャレンジ精神を語る

常に園芸業界の課題、先取りをテーマとし、最もアカデミックなセミナーとして知られる、千葉大学園芸部が組織する花葉会主催による第26回「2009年花葉会サマーセミナー」が、7月18・19日、全電通労働会館全電通ホール（東京都千代田区）で行われた。

厳しい花き業界を背景に今回のテーマは「時代を切り拓く熱き挑戦者たち～花作りの後継者にロマンとパワーとアイデアを～」。

後継者として、開拓者として次代を担う若い世代の生産者を中心に、10名の講演が行われ、経営に重点をおいた取り組みが紹介された。演者は、大林修一（プラネット）、小林隆行（小林ナーセリー）、皿井喜清（皿井植物園）、今井 満（はなぞの野呂高原）、木村伸男（岩手大学農学部）、西村行緒（さあやファーム）、宮川将人（宮川洋蘭）、菅谷健治（東庄園）、岩淵 薫（花職人Aizu）、深井誠一（香川大学農学部）の各氏。



講師陣によるパネルディスカッション

“ポタジェガーデン”で勝ち抜く新ワークショップシリーズ第2回

失敗しない今後の野菜戦略・・・極秘情報満載！

第2回目は、フラワートライアルの開かれている八ヶ岳、バラクライングリッシュガーデンで9月29日開催です。内容は、「家庭菜園の初心者でも失敗しない!!」をコンセプトに、

- ・来春の仕掛けは「野菜苗に花苗・果樹苗・花木のミックス植栽提案」+ 関連資材を含めた展開での売上げ130%アップ策
- ・「コンテナ・プランター」と「菜園栽培向け」の考え方と品揃え、売場展開の仕方
- ・来春の注目マル秘品種と健康指向等トレンド品目を多数紹介（作りやすさ、おいしさ等）
- ・地域の気候風土にあった環境にやさしく安心安全な土作り、野菜作りの仕掛け方。「売れ筋商品構成とマル秘栽培テクニック」

と、野菜売り場作りには欠かせない極秘情報がいっぱいです。

詳しくはホームページか事務局（tel 052-571-7911）まで。

<http://npogarden.com/houkoku.htm>



第1回目 7月ワークショップ会場



カエデ
kaede

19thバラクラ・フラワーショー

前年を大幅に上回る2万5千人でにぎわう

開設から19年を迎えた蓼科高原バラクライングリッシュガーデンは、開設当初から行っている「バラクラ・フラワーショー」を、1年で最も庭が美しくなる6月19～22日の5日間、同ガーデンで開催、前年の2万1000人を大きく上回る2万5000人でにぎわった。

入場者は最も美しく見ごろになった同ガーデンを散策したり、約10社の生産者によるプランツ販売や約20社のガーデニング関連雑貨などの即売を楽しんだ。いずれの植物、商品もグレードの高い品質とあって、多くの人たちが目を輝かせ、また、フードコートやレストランにもにぎわい、「見る」「学ぶ」「買う」「食べる」の4大要素を堪能した。



過去最高の入場者で賑わったバラクラ・フラワーショー

第22回全国花き装飾技術コンテスト

高レベル作品ひしめく

日本園芸商協会主催の「第22回全国花き装飾技術コンテスト」が、同協会総会に併せて7月22日、大阪植物取引所（大阪府豊中市）において行われた。協会関係者が中心となって美しい商品として鉢花を演出するアレンジを競うコンテストで出展数は100点。

審査委員長の矢澤秀成氏は、「これまでさまざまなコンテストで審査してきたが、これほど高いレベルは初めて」と、質の高さを賞賛した。



農林水産大臣賞／「妖精の森」 莊司美知規さん（株桂園芸）

会員紹介

三協立山アルミ株式会社

「空の下に自在空間」。

それが私たちの合言葉。夢広がる快適なエクステリア空間を提案します。

もっと居心地のよい、いろんな人のいろんな夢を叶える空間を演出したい。

私たちはこのようなコンセプトで新しい空間概念の創造とその具現化に挑んでいます。

高まる防犯ニーズに応えるトータルセキュリティエクステリアの提案をはじめ、自在な空間を演出するエントランススペース提案商品などさまざまなニーズに対応する商品を開発するとともに省エネ、省資源をキーワードに地球と人にやさしいあらたな技術提案を推進してまいります。

お問い合わせ

〒933-8610

富山県岡岡市早川70

TEL 0766-20-2560

URL <http://www.sankyotateyama-al.co.jp/>





カエデ
kaede

 コラム

子供達への食育について

ここ最近で自分が興味を持っているのは、子供達への食育です。

幼い頃に、家族でまたは幼稚園や小学校の遠足などで、ワイワイと皆で行った芋掘り、好きな女の子と手をつないで畑に行き、土まみれになり、収穫した芋を焼き芋にして食べた事を今でも鮮明に覚えています。

幼いながらも収穫をするのは、土から掘り起こす“いも”に驚きと感動、そして「農家のおじさんは大変だな～」と感じたのを覚えています。

近年の野菜ブームは非常に嬉しい事ですが、販売応援で店頭に立ってお客様の様子を見てみると、明らかにプランターのサイズが小さかったり、選ぶ土を間違っていたりと、家庭菜園での子供達への食育のチャンスを奪ってしまう場面を見かける事があります。思ったように収穫出来ない = 来年はやめてしまう？人がどれくらいいるだろうか？と、、、

ポイントが1つでもずれるとしっかりと収穫が出来ない野菜は、業界全体で初心者の方へ収穫の楽しみを伝えるべきだと思っています。

そのためには店頭でお客様の生活スタイルや、環境にあった野菜品種や資材選び、「失敗しない、失敗させない」をキーワードに、丁寧な接客が出来なければ実現しませんので、小売店、ベンダー、メーカーとの連携のとれたイベント開催や、専門家を招いての講習会、または幼稚園、小学校を訪問しての講習会などこつこつと地道に重ねて行き収穫の楽しさ、安心・安全な野菜を食せるありがたみを多くの人に広げていきたいと思っています。

大人達から子供達へ伝えていく、目で見ること、触れることが大切だと思います。野菜が食卓に並ぶまでの流れ、種や苗を植え、育てる～収穫の喜びや大変さ、そして野菜を食せるありがたみを知ってもらい、家庭菜園を実際に楽しんで挑戦していただきたいと思っています。

私は、「物」を売るという視点からではなく、「感動や楽しみ」を伝えるという視点から必要資材を提案していきたいと思っています。



株式会社花ごころ
営業部 松永 透



事務局だより

ガーデンを考える会
事務局 TEL052-571-7911
FAX052-571-2208

梅雨明け宣言が出たと思ったら、もう秋風が立ち、朝夕は涼しくなってきました。夏が短かったことで、'夏'を当て込んだ商品の売れ行き、商戦は厳しかったようですが、秋が長ければ庭で楽しむ時間が増えそう。